

この度 唯一無二のガバナーめざし 笹山義弘直前ガバナーの後を受けて 2025 年～2026 年度の国際ロータリー第 2730 地区のガバナーに就任致しました 延岡中央ロータリークラブの西本幸則でございます。どうぞ宜しくお願い致します。

私は 昨年 10 月に 青天の霹靂でご指名を受けまして 昨年 12 月のガバナーエレクト ラーニングセミナー(GELS)と今年 2 月の国際協議会に参加させて頂くためにマイロータリーのラーニングセンターにて準備のための受講を受けまして アメリカのフロリダ州 オーランドに行くことが出来ました。そこでブラジル・サンパウロ出身の国際ロータリー会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏より



テーマではなくメッセージとして「UNITE FOR GOOD」「よいことのために手を取りあおう」そして 会員増強を 私たちの組織の最優先事項であり 最も価値ある資産であり 最大の課題であると 強調しました。また 組織全体で会員増強に力を注ぐことが 不可欠である。とも言い ロータリーの最大の財産は『会員』だとも言いました。そして革新こそが 変化するこの世界に私達が適応する手段なのです。また若い会員を迎え入れるだけではなく、目的や つながりを求める年配の方々にも参加して頂く必要があります。それから継続性でロータリーは 毎年リーダーが交代するという 独特な課題に直面していますが そのリーダー 同士が連携し 自分の年度を超えてロータリーを思い描けば 長期的な成功の土台が築かれます。分断されがちな世界において ロータリーは団結の希望の光となります。私たちのプロジェクトは 人類、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人々を結び付け 世界で良いことをするという共通の目的で私たちをひとつにします。そしてロータリーは より良い人間となり、人々に奉仕をし 末長いインパクトをもたらすよう 私たちを鼓舞します。楽しむことを忘れず成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んで行きましょう

【9の行動計画】

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 新しいクラブの設立 | 2. 衰えつつあるクラブの復活 |
| 3. 伝統的クラブの強化 | 4. 元会員の参加 |
| 5. 青少年に働きかける | 6. 親睦 |
| 7. 専門団体 | 8. 未開発の地 |
| | 9. 行動の呼びかけ |

それからロータリークラブは だれのものでもない 次世代に残すことが使命。変化の力 大胆に行動 心を込めて行動 よいことを楽しんで仕事につなげるとRI会長が言われました。しかし残念ながら RI 会長の交代がありましたが 今年度の RI 会長フランチスコ・アレツツォ氏も メッセージを引継ぎましたので 以上を念頭に置いて 国際ロータリー第 2730 地区基本方針のメッセージとして「居心地の良いクラブとは」を掲げて退会防止に努め会員増強を行い 楽しいクラブをつくりましょう。

【地区活動計画】

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 大きな夢を持ちましょう。 | 2. チームワークは 成功の秘訣です。 |
| 3. 計画にコミットしましょう。 | 4. 行動を大きな声で語りましょう。 |
| 5. 失敗を受け入れて そこから学びましょう。 | 6. チームの努力を認め 必要ならば謝罪しましょう。 |
| 7. 自分の役割を真剣に捉え成果を追求しましょう。 | 8. 居心地のよい環境を作り 楽しみましょう。 |

【成長のために「不可欠な 3 つの柱」】

- 革新 ・会員増強(衛星、分野特化型、法人、パスポートクラブ等)
- 継続性の重要性 ・地区リーダー同士の連携です。
・ 3 年間の目標(3-YEAR-GOALS)を 2 年目の達成
- パートナーシップの力・ポリオ根絶活動の歴史=ゲイツ財団、WHO、UNICEF

【ガバナー補佐の協力の重要性】

- ① より大きなインパクトをもたらす。
- ② 参加者の基盤を広げる
- ③ 参加者の積極的なかわりを促す。
- ④ 適応力を高める。

【重点事項】

- ①楽しむこと。
- ② 公共イメージの向上。
- ③ 奉仕活動への支援。
- ④ ロータリー財団への理解
- ⑤ 米山記念奨学会への協力

「よいことのために手を取りあおう」の言葉のように パストガバナーの指導を 受けながら ガバナー補佐、部門長、委員長、ク